

家の間取りを考える上で大切なポイントは沢山あります。動線や収納量、採光や風抜け、断熱、気密、プライバシーの確保など。その中でも今回は、「採光」と「プライバシーの確保」についてお話ししたいと思います。

「採光」とは、太陽光、自然光を取り入れて室内を明るくすること。

採光をよくすることにより、室内は明るく過ごしやすくなり、能率的で衛生的な生活を営むことができます。採光と聞いて真っ先に思い浮かぶのは窓でしょう。窓は、最も一般的な採光手法と言えます。

その「採光」と密接にかかわるのが「プライバシーの確保」です。近年では、狭小敷地や住宅密集地での住宅建築も多く、「窓越しのお隣さんからの視線が気になる」とか「通りの通行人から窓を覗かれそう」などの意見が出ることもあります。街中を走っていても、開かずの窓をお持ちの住宅をよく目にします。採光や外観の意匠を意識して、せつかく造った窓が、外部からの視線を気にした結果、一年中カーテンやブランドを閉めっぱなし…。

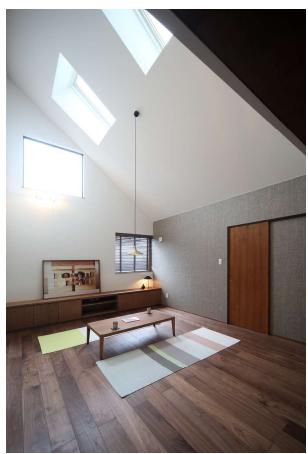
採光を重視するとプライバシーが守られない

プライバシーを重視すると採光がどれない  
せつかくの家づくり、妥協したくないですよね。採光とプライバシーの確保、両方を解決する方法を考えてみませんか？

例えば、ハイサイドライトの設置。ハイサイドライトとは、壁の天井付近の高い位置に鉛直方向に設けた窓のこと。視線が水平に抜けないため、外部からのプライバシーが守られやすく、空への視線が抜け、しかも建物などが視界に入りにくいため、窓の面積に比べて開放感も大きく、明るさも確保できます。（高い位置の窓は、換気にも有利）



▲ハイサイドライトで明るいLDK  
M様邸



▲トップライトから優しい光が注がれる  
Y様邸

## 採光とプライバシー。

zuiun便り Vol.33

トップライトの設置も有効な手段です。トップライトとは、屋根に設けた明かりとりの窓。つまり、天窓です。特別周囲に建物などが密集している敷地に最適です。一般的の窓の約3倍の採光量が確保できるとも言われ、窓が開閉するタイプや、日射量を調整できるブラインドやロールスクリーンがついたもの、雨が急に降った場合でも自動的に閉まるタイプなどがあります。

窓の工夫以外では、コートヤード（光庭）を検討しても良いかもしれません。建物の内部に採光のために設ける中庭をとくにこう呼びます。平面的に規模の大きな建物では内側の自然採光が難しくなりがちであるという問題を解消する策のひとつです。

これらを採用するには、周辺の建物の高さや窓の配置、敷地に面した通りの車・人通りの量や時間帯を事前によく調査することをお勧めします。（実際 zuiunスタッフは、設計させて頂く敷地の状況を、朝昼夜と何度も調査に行きます。カメラ片手に。夜は特に怪しい人に見えます…。）また、すりガラスや曇りガラス、反射ガラスなど、ガラスの種類を工夫するのも良い方法です。

今回書いた内容は、解決法の一部です。間取りと窓、開口、材料なんかを工夫するだけ……そうです！！採光とプライバシーのどちらも諦める必要なんてない！！両方を解決する貴方にとつて最良の方法を一緒に考えましょう！！

話は変わりますが、現在、北向きの敷地での家づくりをPLAN中のお客様が、先日の打ち合わせで『かつこつてるみたいですが…』と前置きしたうえで、『自分だけの空が欲しい』と照れくさそうにおっしゃっていました。このzuiun便りを執筆しながら、『光のいっぱい入る、そして、マイスカイ見放題の窓がある○○様邸を造りたい!!』とメラメラ燃えている、zuiun建築チームでした。



▲細長い長方形の敷地に有効な光庭  
M様邸

株式会社 ZUIUN ZUIUN建築設計事務所  
〒921-8804 石川県野々市市野代1-8  
月~金 11:00~20:00 火曜定休（祝日の場合は営業）  
土日祝 10:00~20:00 ※定休日が変わりました